

お知らせ

■平成23年度第2回次世代バイオナノ研究会 開催

健康工学・ナノ医工学を中心とした次世代バイオナノ技術における将来の新たな研究課題とその実用化の可能性について検討するため、「次世代バイオナノ研究会」を設立し、各研究分野における産学官の研究者が一同に会し、最先端研究に関する講演をベースとして、会員相互の認識を深めると同時に、共同研究開発プロジェクトを形成することを目的として意見交換を行います。

【日 時】平成24年1月19日(木) 13:00～16:30

【場 所】サンポートホール高松 54会議室
(高松市サンポート2-1)

【参加費】 無料

○ 13:00～13:05 あいさつ

○ 13:05～14:05

特別講演

「メタボローム測定法の開発と生命科学への応用」
慶應義塾大学先端生命科学研究所
曾我 朋義 氏

○ 14:05～14:45

「NMR-メタボロミクスによる研究開発ナビゲーション」
産業技術総合研究所
バイオメディカル研究部門 根本 直 氏

<休憩> 14:45～15:05

○ 15:05～15:45

「メタボロミクスによるがんバイオマーカー探索」
神戸大学大学院医学研究科 吉田 優 氏

○ 15:45～16:25

「抗原結合により光る抗体Quenchbodyの開発」
東京大学大学院工学系研究科
上田 宏 氏

○おわりに 16:25～16:30

【参加申込】

参加希望の方は参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX(087-869-3554)又はメール(bionano-j2@m.aist.go.jp)にて平成24年1月13日(金)までにお申し込み下さい。

詳細はこちら

http://unit.aist.go.jp/shikoku/event/20120119_bionano.html

■第6回インテレクチュアル・カフェ 開催

多くの研究機関が集まる香川インテリジェントパークに“にぎわい”の渦をおこし、将来の科学技術を語り合うざっくばらんな集まりの場として開催します。

【日 時】平成24年1月23日(月) 17:30～19:00

【場 所】産業技術総合研究所 四国センター講堂
(香川県高松市林町2217-14)

【入場料】 無料

○17:30～18:00 講演

テーマ「弱小医学部基礎研究室の奮闘」

講師 香川大学医学部 教授 西山 成 氏

○18:00～ 交流会(1時間程度)

※ソフトドリンク等

実費負担[ワンコイン(500円)]

【参加申込】

参加希望の方は参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX(087-869-3554)又はメール(s-intelcafe@m.aist.go.jp)にて平成24年1月20日(金)までにお申し込み下さい。

詳細はこちら

http://unit.aist.go.jp/shikoku/event/2012_1_23intere.html

■「食と健康」医農工連携人材育成事業 (連続講座) in SHIKOKU 開催

「薬事法入門、医療機器とものづくり技術、先端技術、医療現場からの発信、食品衛生、植物工場、農水産物機能性成分など」連続講座を開催いたします。

【日 時】平成24年2月3日(金) 13:00～17:00

【場 所】経済産業省四国経済産業局607会議室
(6階)
(香川県高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎)

■主催：産業技術総合研究所四国センター
産総研・健康ものづくり研究会

■共催：経済産業省四国経済産業局

※徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、高知工科大学、徳島県、香川県、愛媛県、高知県ほかのご協力をいただいております。



第5回「2012年2月3日」講座のご案内

【プログラム】

- 13:00～13:05
ご挨拶と趣旨説明
産総研四国センター所長 三木 啓司
- 13:05～14:15
医療機器産業への参入と海外事業
財団法人医療機器センター医療機器産業研究所
主任研究員 中野 壮陸 氏
- 14:15～15:05
材料工学が活きる医療機器技術～カスタムメイドインプラント～
産総研ヒューマンライフテクノロジー研究部門
高機能生体材料グループ 主任研究員
岡崎 義光 氏
- (小憩)
- 15:20～16:10
愛媛大学医学部付属病院抗加齢センターの取り組み
～到来する超高齢社会に向けたものづくり産業への期待～
愛媛大学大学院医学系研究科
教授 三木 哲郎 氏
- 16:10～17:00
徳島大学における医工連携・農工食連携の取り組み
～病気の早期発見、診療、および予防に役立つ医用技術の開発～
徳島大学副理事 木内 陽介 氏

【参加申し込み】 参加費は無料です。
企業、大学等産学官関係者であれば、業種・地域(県内外)は問いません。

参加希望の方は参加申込書にご記入の上、FAX(087-869-3554)又はメール(aist-shikoku-curriculum@m.aist.go.jp)にて、**平成24年2月2日(木)**までにお申し込み下さい。

詳細はこちら

http://unit.aist.go.jp/shikoku/event/20120203_curriculum.html

■ものづくり力向上IT化セミナーin香川 開催

ものづくり企業の生き残りや国際競争力強化のためには生産性向上(生産管理のIT化による業務品質・業務効率の根本的改善)が不可欠です。その実効ツールとして独立行政法人産業技術総合研究所が開発した画期的なソフトウェア「MZ(ものづくり)プラットフォーム」(MZPF)及び、当該MZPFと革命的な現場情報の入力技術である「音声認識入力技術」とを結合したMZPF導入事例を紹介するセミナーを開催いたします。

【日 時】 平成24年2月17日(金) 13:00～16:00

【場 所】 香川県産業技術センター 3階研修室
(高松市郷東町587-1)

■主催：香川県産業技術センター、産業技術総合研究所

■共催：公益財団法人かがわ産業支援財団

■後援：四国経済産業局

【参加費】 無料

○13:00～13:05 開会挨拶

○13:05～13:35
「製造業のサバイバルと画期的IT化(MZPF導入)」
産業技術総合研究所 イノベーション推進本部
イノベーションコーディネータ 吉田 重治 氏

○13:35～14:10
「MZPF導入による社内IT化」
産業技術総合研究所先進製造プロセス研究部門
製造情報研究グループ長 澤田 浩之 氏

<休憩> 14:10～14:20

○14:20～15:00
「聖徳ゼロテックにおけるMZPF導入事例の紹介」
聖徳ゼロテック(株)
取締役 副社長 古賀 忠輔 氏

○15:00～15:40
「騒音環境対応音声認識入力結合型MZPF導入企業
の事例紹介」
(株)日鉄エレックス
取締役・技術管理部長 大西 忠治 氏
情報通信事業部部長代理 山口 悟 氏

○15:40～15:55 質疑応答

○15:55～16:00 閉会挨拶

○16:05～16:50 MZPF導入個別相談会

【参加申込】

参加希望の方は参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX(087-869-3554)又はメールにて **平成24年2月8日(水)**までにお申し込み下さい。

詳細はこちら

http://unit.aist.go.jp/shikoku/event/20120217_ITka.html



■平成23年度 第11回 産総研・産技連LS-BT 合同研究発表会開催

本年度も産総研ライフサイエンス関連分野と産技連ライフサイエンス部会・バイオテクノロジー分科会の合同で、標記イベントを開催致します。
本発表会は、産総研及び公設試験研究機関の研究成果を広く公開し、産総研内外の研究者の相互交流、融合化を促進する事を目的に、企業、大学関連団体等、外部へも参加を呼びかけ開かれた会として開催致します。

【日 時】 平成24年1月31日(火)10:20～
2月1日(水)12:00

【場 所】 産業技術総合研究所 つくばセンター
共用講堂
(茨城県つくば市東1-1-1 中央第1)

【主 催】 産業技術総合研究所、
産技連ライフサイエンス部会バイオテ
クノロジー分科会

【参加費】 無料 交流会費 2,000円

1月31日(火) 15:15～17:30 ポスター発表
安部博子ほか／健康工学研究部門、(株)四国総合
研究所

☆柚子皮ペーストの免疫制御機能の解析

仲山賢一ほか／生物プロセス研究部門
☆オリーブ抽出物のペプチド成分の解析

小比賀秀樹ほか／健康工学研究部門
☆食添アルギン酸ナトリウムの粘度とアルギン酸
ゲル強度の関係

苑田晃成ほか／健康工学研究部門
☆醱酵乳製品副産物ホエーを利用した製品製造に
おける微高圧CO2殺菌について

廣津孝弘ほか／健康工学研究部門
☆食品機能性成分分析法の標準化に向けて

仲山賢一ほか／生物プロセス研究部門
☆糖脂質蓄積による細胞増殖シグナルの解析

内海明博ほか／四国産学官連携センター
☆食品分析フォーラムと分析法のフォーラム標準

福本夏生／つくば計量標準管理センター
☆食品中機能性成分分析マニュアルの作成とマ
ニュアルに基づいた共同分析による精度向上の試み

脇田慎一／健康工学研究部門
☆DNAメチル化比率評価チップの研究開発- 標準
試料酵素分解物のオンチップ前処理・分離-

中村 努／健康工学研究部門
☆不溶性セルロース分解を目指した耐熱性人工セル
ラーゼ創製に関する研究

星野英人／健康工学研究部門
☆機能性融合タンパク質材料の開発

清末和之／健康工学研究部門
☆神経栄養因子の亜型に注目したうつ病治療診断技
術の開発

田村繁治／健康工学研究部門
☆フルカラーLED 照明とハンディコントローラ

上野 豊／健康工学研究部門
☆顕微鏡画像からの3次元再構成ソフトウェアの開発

2月1日(水) 産技連ライフサイエンス部会 バイオテ
クノロジー分科会 発表会
【研究成果・事例発表会】

○11:25～11:55

「特産食品中の機能性成分分析法フォーラム標準
化に向けて」

産総研四国産学官連携センター

イノベーションコーディネータ 細川 純

参加申込はこちら

http://unit.aist.go.jp/rp-life/03_event/ls-bt/contents02.html

詳細はこちら

http://unit.aist.go.jp/rp-life/03_event/ls-bt/index.html

■健康工学研究発表会開催

健康工学研究部門は2010年4月に発足しました。外
部の著名な研究者による基調講演も交えて、最近の
当部門の研究発表を公表する機会を設けました。

【日 時】 平成24年2月22日(水) 13:00～17:30

【場 所】 産業技術総合研究所 関西センター(池田)
基礎融合棟 2F 会議室
(大阪府池田市緑丘1-8-31)

I 講演会(13:00～16:30)

・司会(健康工学研究部門長 吉田 康一)

・ご挨拶(産総研理事／ライフサイエンス分野研究
統括 湯元 昇)



・基調講演(13:10~14:20)

1. Prof. Jau Tang, Research Center for Applied Sciences, Academia Sinica, Taiwan
"Understanding and controlling of quantum dot blinking for bioimaging and optoelectronic applications"
2. Dr. Kweon Yu, Aging Research Center, Korea Research Institute of Bioscience and Biotechnology, Korea
"Drosophila short neuropeptide F (sNPF) signaling regulates lifespan, body growth, and carbohydrate metabolism through the insulin signaling"

・休憩(14:20~14:40)

・部門成果発表(14:40~16:20)

1. 平野 研(生体ナノ計測研究グループ)
「分子リアルタイム計測によるDNA解析技術の開発研究」
2. 都 英次郎(ストレスシグナル研究グループ)
「光で発熱するカーボンナノチューブ複合材料の開発」
3. 弓場 俊輔(組織・再生工学研究グループ)
「実現目前の再生医療支援技術開発と再生医療製品新製造システムの国際標準化」
4. 安部 博子(生体機能制御研究グループ)
「バイオ医薬品生産のための糖鎖改変酵母の開発」
5. 岩木 直(くらし情報工学研究グループ)
「脳活動計測を用いた知覚・認知機能評価技術とそれに基づく聴覚補償機器・疲労計測システムの開発」

・ご挨拶/地域センターの取り組み(16:20~16:30)

三木 啓司(産総研四国センター所長)
田口 隆久(産総研関西センター所長)

II.ポスター発表(16:40~17:30)
若手中堅研究者による発表(30数件)

詳細及び参加申込はこちら

<http://unit.aist.go.jp/hri/topics/2012/20120222.html>

ニュース

■提言集『研究者が語る、食と健康』発刊
~ご希望の方に無料で配布~

産総研四国センターは、四国の6大学(徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、高知工科大学)と共同で提言集「研究者が語る、食と健康」を発刊いたしました。

○発刊の趣旨

『経済社会に目を向けますとダイナミックで極めて短期間に変容するのが「現代」です。産業界の方々からは「本当は長期的ビジョンを持って経営していくことが必要なのだが、時代の流れがあまりに速く先を見通すことが難しい」といった声をよく聞きます。大学等では医学、薬学、歯学、工学、農学など異なった研究者が活躍しています。本来研究活動とは長期的な視点で行われるものです。専門分野から見た地域の課題、科学技術による地域貢献、産業のあり様など長期的視点から経済社会の姿を思い描き、さまざまな切り口で「研究者が語り部」になろうという取り組みが本冊子です』

○申し込みは

FAX(087-869-3554)又はメール
(workshop_shikoku@m.aist.go.jp)にて
所属機関名、役職、氏名、送付先住所並びに連絡先
(電話番号等)を明記してお申し込みください。
担当者 : 林、松浦、渡邊

■『百歳を健康に生きる技術シーズ集』を掲載しました

健康工学研究部門で開発し産業化を目指す成果を「技術シーズ集」としてホームページに掲載しました。

最近の成果を中心に、比較的産業応用に近い技術を選びました。企業研究者、経営層の方々は勿論、一般の方にもわかりやすく作成いたしました。是非、広くご利用いただくことをお願い申し上げます。

詳細はこちら

<http://unit.aist.go.jp/hri/information/seeds/index.html>

Aist Today

※詳細はこちら

http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aist_today/vol12_01/vol12_01_main.html



発行: 独立行政法人産業技術総合研究所
四国産学官連携センター (内海・渡邊・福家)
TEL 087-869-3530 Fax087-869-3554
E-mail: shikoku-mail@m.aist.go.jp
URL: <http://unit.aist.go.jp/shikoku/>